

日置市2050脱炭素ビジョン

～『多彩に暮らす、オール日置で脱炭素！』
の実現に向けて～



令和5年3月
日置市

目次

はじめに	ビジョンの位置付け	1
1	ビジョンの基本的事項	1
第1章	ビジョン策定に当たって	2
1	地球温暖化の現状	2
2	脱炭素を巡る国内外の動向	4
第2章	日置市の概況と市民・事業者の意識	8
1	日置市の概況	8
2	市民・事業者の意識	14
第3章	日置市の2050年に向けた地域脱炭素ビジョン	17
1	日置市の脱炭素ビジョン	17
2	脱炭素化に向けての基本的な考え方	19
3	温室効果ガス排出量の削減目標	21
4	再生可能エネルギーの導入目標	21
第4章	日置市地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 日置市の脱炭素化	22
1	市域における温室効果ガス排出量削減目標	22
2	市域における脱炭素社会の実現に向けた施策	23
3	市域における施策の推進体制	35
第5章	日置市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 市役所の脱炭素化	36
1	前計画におけるこれまでの取組について	36
2	日置市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の基本的事項	36
3	事務事業における温室効果ガス排出量の削減目標	38
4	事務事業の脱炭素化に向けた取組	38
5	市役所における脱炭素化の推進体制	42
第6章	エネルギー関連データ	43
1	温室効果ガス排出量推計について	43
2	将来における温室効果ガス排出量の推計	45
3	再生可能エネルギーの現状とポテンシャル	49
4	温室効果ガスの吸収量	55
5	ロードマップ	56
資料編		57
1	日置市地域脱炭素推進委員会	57
2	庁内での協議	58
3	市民参画	59

第3章 日置市の2050年に向けた地域脱炭素ビジョン

I 日置市の脱炭素ビジョン

2050年の地域脱炭素ビジョンを検討するに当たり、「2050年の日置市をこんな街にしたい」というテーマで、市役所の若手職員を中心にワーキンググループ(12人、2回、合計8時間)をつくり議論を行いました。

グループワーキングでは、「2050年に実現していると仮定した条件」を4つ設定してブレインストーミングを行い、その結果、「2050年の日置市をこんな街にしたい」の特徴は9つに分類されました。

4つの
条件

【2050年に実現していると仮定した条件】

- (1)100%再生可能エネルギーを使用している。
- (2)資源循環は100%達成している。
- (3)仮想空間と現実空間は両立している。
- (4)AI^{※9}、IoT^{※10}技術は進展している超々Society5.0^{※11}。

ブレインストーミング

9つの
特徴

【2050年の日置市をこんな街にしたい】

- ①全ての産業がRE100^{※12}を実現している。
- ②天気のコントロールが可能となり、安定的な食料の確保ができる。
- ③子どもから高齢者まで自由な移動手段を確保している。
- ④娯楽・観光・特産品・スポーツが際立っている。
- ⑤買い物も自由に手間なくできる。
- ⑥安心・安全な子育てができる。
- ⑦効率的でみんな(小・中・高・成人)が元気になる教育を受けられる。
- ⑧安全、安心な医療、福祉を受けられる。
- ⑨暮らし方、住まいを選べる。

検討

これらを踏まえ、日置市の2050年に向けた脱炭素ビジョンを次頁の通り描きました。

日置市の2050年に向けた脱炭素ビジョン <次頁へ>

※9 AI …Artificial Intelligence の略で人工知能のこと。私たちが頭の中でやっていること(種類判別・計算など)をコンピュータ上で、人工的に再現し、コンピュータで疑似的に再現するもの。

※10 IoT …Internet of Things の略でモノのインターネットのこと。パソコン、家電など身近にあるあらゆるものをインターネットに繋げる。それにより、モノから情報を収集したり、収集した情報を分析したりして、より便利になること。

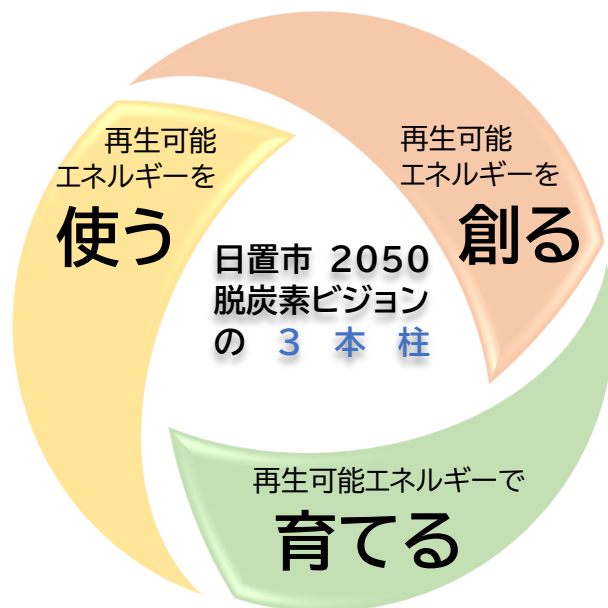
※11 Society5.0 …情報社会(Society4.0)に続く新たな社会のこと。AIやIoTなどを活用し、仮想空間(サイバー空間)と現実空間(フィジカル空間)が統合されて、様々な垣根を乗り越え、一人一人が生き生きと暮らせる人間中心の社会のこと。

※12 RE100 …企業が自らの事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す、国際的な企業の集まりのこと。REは、Renewable Energy(再生可能エネルギー)の頭文字をとっている。

2 脱炭素化に向けての基本的な考え方

日置市の脱炭素を進めるために、全ての市民・事業者・行政が考えていく視点を下図のようにまとめました。

脱炭素で地域の稼ぎを増やしましょう！
そのためには、できることから始めましょう。



再生可能エネルギーを「創る」「使う」「育てる」の具体的な考え方を下表に示します。

創る	創る-① 太陽・水・風・バイオマス等 で創る(地産)	日置市内において、景観や周辺の状況に配慮しながら太陽・水・風・バイオマス等を利用して、電気や温水の創る量を増やします。
	創る-② 卒 FIT ^{※13} 電源で創る(地産)	FIT 後に発電した電気を、日置市に再エネ電気を供給する電力会社に売電することで自分たちが利用できる再エネを増やします。
	創る-③ 電力ネットワークを創る	再生可能エネルギーを基幹電源とするために EMS(電力マネジメントシステム) ^{※14} の高度化や、配電網の自立運営などに取り組みます。
使う	使う-① 見える化して使う(省エネ)	どこで(どの機械で)、どのくらい(昼間、夜間など)電気が使用されているかを見える化します。
	使う-② 賢く使う(省エネ)	電気の使用量の見える化をもとに、無駄なエネルギーのカットや新しい省エネタイプの機器への交換などを行い、地球の環境を考えて使います。
	使う-③ 地域で使う(地消)	日置市内の電力会社から電気を購入することで「エネルギーの地消」を進めます。
育てる	育てる-① 仕事・事業者を育てる	再生可能エネルギーを増やす際には、設計・建設・運用・保守・点検等の新しい仕事が発生します。これらの新しい仕事を日置市内の事業者が担うことを進めます。
	育てる-② 専門家・生徒・学生を育てる	再生可能エネルギーに関連する仕事に従事する専門的な人材を確保するために、関連人材のリカレント教育 ^{※15} や生徒・学生などの専門教育を充実します。
	育てる-③ 市民を育てる	再生可能エネルギーの活用をきっかけに、子どもから大人までの環境学習や持続可能な社会の実現に貢献できる人材を増やします。

※13 FIT

…Feed-in Tariff の略で固定買取制度のこと。再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取る制度。

※14 EMS(電力マネジメントシステム)…Energy Management System の略。工場やビル、住宅などの施設の電力使用状況を把握したうえで、電力の需要供給バランスなどを管理する仕組みのこと。

※15 リカレント教育

…学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくこと。

第4章 日置市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

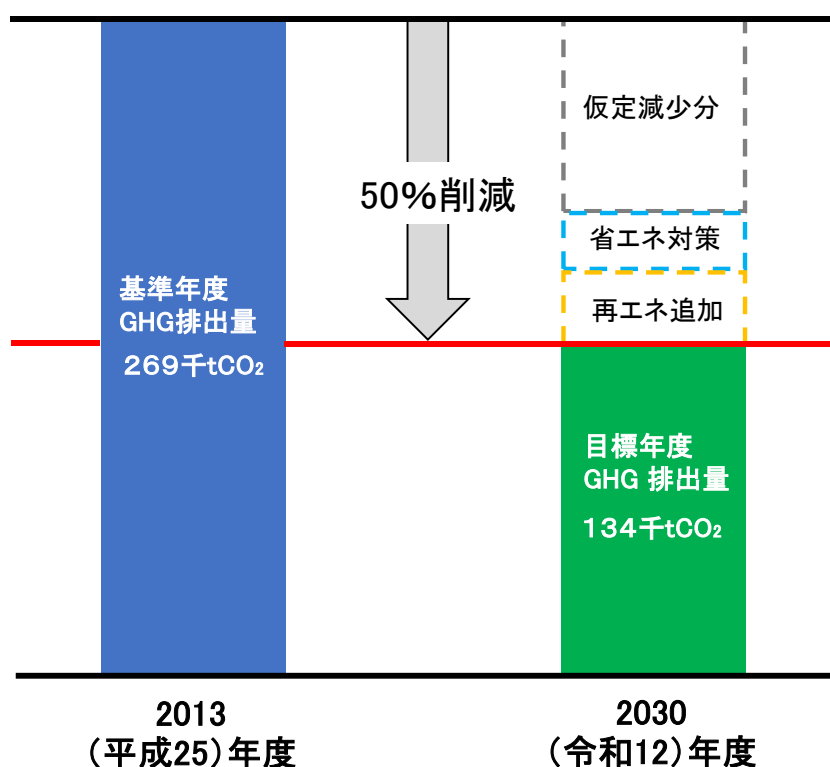
日置市の脱炭素化

I 市域における温室効果ガス排出量削減目標

地域脱炭素ビジョンに基づき、市民の積極的な省エネルギーの取組と再生可能エネルギーの導入による2030(令和12)年度に向けた温室効果ガス排出量の削減目標を設定します。

目標年度	削減目標
2030(令和12)年度	2013(平成25)年度比50%以上削減 ※国の目標「2030(令和12)年度において、温室効果ガス46%削減(2013(平成25)年度比)を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けること」を踏まえ、日置市として高みを目指す率優先的な削減目標を設定する。

2013(平成25)年度から2030(令和12)年度において、現時点の省エネ対策を継続したと仮定する(現状維持での仮定減少分と称す)と80千t-CO₂の温室効果ガスの減少が見込まれます。さらに、2030(令和12)年度の削減目標を達成するために、省エネルギーに関する追加対策(22千t-CO₂)と再生可能エネルギーの追加導入対策(33千t-CO₂)を行います。



注) 再生可能エネルギーの追加導入対策(33千t-CO₂)については電力排出係数^{※22}低減による削減効果を含む

※22 電力排出係数

・・・電力会社が電力を作る際に、どれだけの二酸化炭素(CO₂)を排出したかを測る指標。排出係数が小さい方が、二酸化炭素(CO₂)の排出量が少ないことを示す。

2 市域における脱炭素社会の実現に向けた施策

2030(令和 12)年度までに、市民・事業者・行政が一体となり以下の6点に取り組みます。具体的な実行計画は、今後検討していきます。

取組 1 :
市内の事業者や市民による再生可能エネルギーの最大限導入、地域を元気にする仕組

- 太陽光・太陽熱、水力を中心とした再生可能エネルギーの導入推進
- 卒 FIT 電源の活用

取組 2 :
ゼロカーボンで快適なライフスタイルを享受

- 住宅の ZEH・断熱化、EV 等の推進
- 地域電力へ電気契約を変更

取組 3 :
観光のゼロカーボン推進

- 景観に配慮した脱炭素のモデル化
- 観光地の電化推進

取組 4 :
産業のゼロカーボン推進

- 建築物の ZEB 化、輸送業の配送業務の脱炭素化
- 全ての産業部門の脱炭素化

取組 5 :
再生可能エネルギーを創る・使う・育てる、人材・事業者の獲得と育成の推進

- 専門人材の獲得と育成
- 市民・事業者の情報共有の場を創生

取組 6 :
公共施設の脱炭素化とレジリエンスの強化推進

- 長期の設備投資計画の立案と実施
- 再生可能エネルギーを活用したレジリエンス強化